

「ぴったりはこれ！—アートカードを使って」指導案

名古屋市立御田中学校 伊藤 増代

- 単元 ぴったりはこれ！
- 目標
- ・アートカードを通じて美術作品を鑑賞することに興味をもち、積極的に活動を楽しもうとする。
  - ・選んだ根拠を自信をもって発表したり、級友の発表に興味をもって聞こうとしたりする。
  - ・作品の解釈の仕方は人それぞれであることをつかむことができる。

| 時  | 学 習 活 動   | 働きかけと支援・留意点  |
|----|---|--|
| 5  | 1 学習課題と手順を知る。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件にぴったりあった作品（カード）を探す。</li> <li>・選んだわけを発表する。また、発表を聞きとり感想をもつ。</li> </ul> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○広い面積の机を確保し、40枚が重ならないようカルタのようにカード配置をする。</li> <li>○机の周りに立って、カード探しをさせる。条件を聞き、<u>ペアと話し合</u>って1点に絞り、ワークシートに記入させる。</li> </ul>                            |
| 20 | 2 1回目のぴったり作品探しをする。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・“色2枚・感じ1枚”の条件に合ったカードをペアと探す。全員が同じ条件で探す。</li> <li>・「選んだわけ」を記入—発表を聞く—「発表を聞いて」を記入する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○希望者に3枚のカードを引かせ、掲示する。</li> <li>○挙手指名で<u>ペア発表</u>をさせる。一人が選んだカードを持って見せ、交互に二人共に発表の機会を持たせる。</li> <li>○黒板に一覧表を掲示しておき、選んだカード（作品）の作者・作品名も記入させる。</li> </ul> |
| 35 | 3 2回目のぴったり作品探しをする。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・2グループに分かれて、それぞれの条件でカード探しをする。</li> <li>・「選んだわけ」を記入—発表を聞く—「発表を聞いて」を記入する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○同じ条件でも選ぶ作品が異なることから、作品から受ける印象は人それぞれであることを気付かせる。</li> <li>○人の意見を“聞く”ことは自分の学びを深めることにつながることを示唆する。</li> </ul>   |
| 45 | 4 ワークシートに「授業を振り返って」を記入する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○数名に感想を発表させ、まとめをする。（発表が時間不足でできなければ、授業後ワークシートの掲示でフォローする。）</li> </ul>   |

- \* 男女の“ペアで発表する”ことで、独りでは自信がない場合の手助けとしたい。その作品を条件にぴったりとして選んだわけについては、全ての発表を認めることで（発表者に拍手させる）、今後の“自信”につなげていきたい。
- \* TTで実践できると、教室の前と後ろで2グループ別々に実施することが可能となり発表者が増える。